

公表:令和3年 3月 25日

事業所名 放課後ライラック

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			感染予防に配慮しつつ適切なスペースを確保しています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			配置数は法律に定めた配置基準に従って、適切に配置しています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関がフラットになっており、バリアフリーの構造にしています。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日の打ち合わせやクラス会議で目標設定し、活動後振り返りをして療育に活かしています。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査で保護者の話をよく聞き、クラスで話し合い、療育計画に反映させています。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			この自己評価はホームページで公開しています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者による外部評価は行われていて、評価を療育の改善につなげるように努めています。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月行われる朝研修、リーダー、サブアシスト研修等に参加しています。(コロナ過による)ズーム研修やアドバイザーを迎えての研修で積極的に学び、療育に反映させています。	
適切な 支援の 標	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを適切に行い、子ども、保護者のニーズや課題を会議で話し合い、支援計画を作成しています。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			子どもの適応行動を図る為、CSPのアセスメントツールを使用しています。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムの立案を、クラス会議やグループスーパービジョン等チームで行っています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			学習に加え、ドッジボール、リズム、豆まき、学習発表会等を行い、固定化しないよう工夫しています。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇は学校課題を計画的に支援したり、スキーセミナー等を行っています。	

供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動、集団活動を組み合わせて、子どもの成長に繋がるような計画を作成しています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前にその日の支援内容、役割分担を打ち合わせ確認しています。	

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に振り返りをし、その日の良かった事、難しかった事を共有しています。	
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の計画を正確に記録し、支援の検証と改善に努めています。	
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断しています。	
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			ガイドラインの総則に従って、活動を複数組み合わせ、支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			子どもの状況を、家族背景も含め最も理解している担当者が参加しています。	
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			小学校とは必要に応じて情報交換を行い、適切に情報共有をしています。	
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		/	/	/	
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			同施設内の児童発達支援事業所を卒園した利用者の情報共有がなされています。その他の利用者も必要に応じて情報共有を行っています。	
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか		/	/	/	
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センター等の専門機関と連携し、様々な研修を受けて助言を得ています。	
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	公園活動で、地域の方や児童と交流する機会があります。	コロナの感染予防のため積極的に交流は持てなかったですが今後はコロナの感染状況を配慮して検討します。
	㉑	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しています。	
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者に、必要に応じてために連絡して子どもの状況を共有し、共通理解を行なっています。	
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者に対して、毎月のグループカウセリング、又は個別の支援でペアレント・トレーニング等を行っています。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			保護者との個別面談を行い、丁寧な説明を行うように心がけています。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			子育ての悩み等に関する相談を面談などで随時傾聴し、必要な助言、支援等を行うようにしています。面談時以外にも、電話相談やお迎え時にも相談に応じています。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母の会の活動を支援し、保護者同士の連携が出来るよう、支援に努めています。	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			子どもや保護者からの苦情があった場合、苦情対応マニュアルに沿って、速やかに対応するように努めています。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			クラス便り等で、活動概要や行事予定等を、子どもや保護者に対し発信しています。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			鍵のかかる書庫に個人情報保管しています。	
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもや保護者との意思の疎通、情報伝達の為の配慮をクラスで連携し行うようにしています。	
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		散歩の時に出会った地域の方と挨拶などをとって交流をはかりました。	コロナの感染予防のため積極的に交流は持てなかったですが今後はコロナの感染状況を配慮して検討します。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			玄関に各マニュアルを提示して周知しています。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月1回、地震、水害、火災の避難訓練を行っています。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待を防止する為、アンガーマネジメント研修に参加しています。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			組織的に決定し、十分に説明、了解を得たうえで、支援計画書に記載し保護者の同意を得ています。	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書に基づく対応をしています。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人全体でヒヤリハットの事例を共有し、安全に配慮するように努めています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。